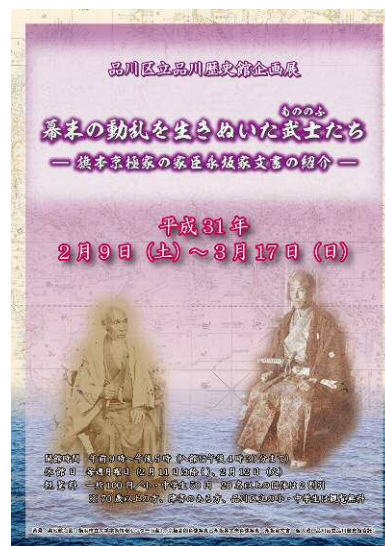


企画展 幕末の動乱を生きぬいた ^{もののふ} 武士たち —旗本京極家の家臣永坂家文書の紹介—					
期間	平成31年2月9日(土)～3月17日(日) 32日間				
会場	第二展示室				
有料観覧者	一般 411	小中 42	一般団体 0	小中団体 0	有料計 815
無料観覧者	区関係 100	区内小中 256	招待 144	高齢者 408	無料計 908
	総計 1,723				

〔開催趣旨〕

品川歴史館には永坂家文書 169 点が平成 20 年（2008）4 月より寄託されている。永坂家は旗本京極家に仕えていた武士で、用人を勤めていた。明治に入り、幕末期の当主京極高朗の夫人が永坂家に身を寄せていたことから、永坂家には同家と旗本京極家の史料が残されている。

当館では、平成 26 年（2014）に「品川から世界へ サムライ海を渡る—幕末明治の日本と外交使節団—」と題する特別展を開催し、京極高朗が遣欧使節団の監察使（目付役）として随行したことや、永坂昇太夫と海を越えた手紙のやり取りがあったことなどを紹介した。今回の企画展でも、幕末期における旗本およびその家臣の動向を、貴重な史料を紹介しながら明らかにした。



〔展示概要〕

1. 旗本京極家と家臣永坂家
2. 品川から世界へ—京極高朗主従の西欧歴訪—
3. 京極家と永坂家のその後—永坂家文書の誕生へ—

〔記念イベント〕

イベント名	日時	講師	会場	参加人数
記念講演会「幕末維新期の京極家とその家臣たち」	3月3日(日) 13:30～15:30	高久 智広(神戸市立博物館学芸課事業係長)	講堂	60名
ミュージアム・トーク①「永坂家文書の魅力を語る」	2月22日(金) 13:30～15:30	富川 武史(品川歴史館学芸員)	講堂	40名
ミュージアム・トーク②「1862～1863年 遣欧使節団の西欧歴訪」	3月17日(日) 13:30～15:30	富川 武史(品川歴史館学芸員)	講堂	45名